

岩屋中だより

令和6年12月23日 NO28

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

福島県いわき市派遣事業に参加した本校生徒の感想の紹介 | インフルエンザ等に係る重要連絡

長崎市は、東日本大震災で大きな被害を受けた、毎年夏に福島県のいわき市との交流学习を行っています。今年度は、いわき市を実際に訪問して学習するために、募集をかけ、選考の結果、本校からは、2名の生徒がいわき市を訪問して、震災に係ることを中心にしながら学習を深めました。本校から参加した2名の生徒が提出した感想がありますので、遅くなりましたが、紹介したいと思います。仲間から学ぼう！

【質問6】

いわき市派遣事業に参加して、学んだこと、感じたこと、気づいたことをできるだけ詳しく記入してください。

今までは、東日本大震災や福島第一原子力発電所のことに興味はあったけど、テレビで見たりすることが多く、遠い存在に感じていました。しかし派遣事業を通して実際に自分の目で見て肌で感じたことで実際に行くのと行かないのではこんなにも違うんだと思いました。だからこそ、興味がある人にはぜひ訪れてほしい、心からそう思います。当たり前の日常に感謝する大切さ、今を一生懸命生きないといけない、命の大切さを一番学んだと思います。そして、いわき市の中学生との交流では短い時間だったけれど、一緒に CM 作りをしたり、色々なお話をすることができて、とても貴重な経験で思い出です。全体としては反省する部分が多かったけれど私達が今まで準備してきた長崎の魅力を伝える発表では思いを込めて長崎の魅力を伝える、という気持ちでしっかりやりきることができました。いわき市派遣事業を通して、福島県 いわき市を含め、長崎の良いところや魅力を学習会からこれまでの中で再発見することができ、良い機会となりました。そして、準備会・学習会のときから共に頑張ってきた 30 人の仲間と 全ての期間を通してとても仲良くなったと思うし、それぞれの学校で行っている生徒会活動は、「どんなことか知ることができ、出会えたことに感謝だと心から思います。語り部の方々からは「震災での記憶や教訓、被災地の復旧・復興状況などを知ることができました。それぞれの場所で展示見学をすることでより理解も深まりました。このいわき市派遣事業に参加することができ、素晴らしい経験になったのは、これまで準備してくださった先生方のおかげや、温かく迎え入れてくださったいわき市、福島の方々、支えてくださった全て方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

【質問7】

いわき市派遣事業で訪れたところ、経験したことで一番印象的だったところ(こと)はどこ(何)だったですか。

印象的だったところ(こと) 浪江町立請戸小学校

理由

現地へ足を運んだとき、衝撃を受けました。校舎へ入る前に津波到達点が表示されていて、まさかこんな上まで津波が来るなんて考えるだけで恐ろしいと思いました。中へ入ると当時のまま保存されたものが残っていてより現実味を感じました。津波により大きく曲がった水道栓、教室中に広がる瓦、樂、学校で使っていたものが「倒れていたりなど、自分の目で実際に見ることでより悲惨さを感じました。請戸小学校の中でも特に 2 つ印象に残っています。

1つ目は卒業式が行われていた体育館がそのまま残っていたことです。体育館の床がすぐくずれていて津波の怖さを知ったし、平凡で幸せな日常が一瞬にして壊れる瞬間だと思いました。だからこそ、今自分が幸せに暮らせているのは当たり前のことではないので何気ない日常に感謝して生きていかないと感じました。2つ目は請戸小学校へ通っていた生徒が書いた作文を見たことです。一つひとつの作例を見ていく中で、請戸への愛や未来への希望など様々な感情が伝わってきました。涙が出るほど、心にくるものでした。この 4 泊 5 日のいわき市派遣事業は全ての時間が宝物でどの瞬間も印象に残っています。どこの場所を訪れても学びや感じることは多く、貴重な体験ができました。

【質問8】いわき市派遣事業を通して、あなたが一番身についたと思う力（資質）はどのような力（資質）ですか。

まずは心身ともに成長することができました。私は今まで、人前に出ることは好きだったけど授業中の発表など積極的にいけない部分が少しありました。でも、いわき市派遣事業の中で「感じたことをミーティングのときなどに発表したり、色々と思いを伝えることができ、そういう場が学校生活に活かしていると2学期が始まってから感じています。ニュースを見たりする中で災害や地震のときに、情報を調べることも多くなりました。そして長崎に対する思いも強くなり、長崎がさらに好きになりました。前よりも人をまとめる力・リーダーシップも高まったし、生徒会活動を通して想像力を働かせ、臨機応変に対応する力がついてきたと思います。行動力も一段と高まり、挨拶・礼儀・謙遜さ・誠実さを含む魅力のあるになるという目標に達することができたと思います。多くの人の前で発表するときなど、ただ発表するだけ、スライドを使うだけではなく、どう工夫したら自分の伝えたいことが伝わるかを考え、逆算して見通しを持って取り組むことができていると派遣を通して感じました。

【質問9】実践報告会ではどのような内容や形式を取り入れると、実りある発表になると思いますか。

発表のときは色々な形式を用いて発表したいです。4泊5日のいわき市派遣の流れを順をおって一日、一日行った場所や学んだことを伝えたいです。まず、スライドには沢山の写真を貼って、大事な要点だけまとめる方法が良いと思います。そして語り部の方がお話をしてくださったこと、地震や津波に備えるためにはどうするべきか、劇にして伝えるのも良いと思います。いわき市の中学生と交流をした際に、作ったCMを披露するのも良いのではないかと考えています。沢山の方々の心に残る報告会にするためには普通の発表では意味がないと思います。一つひとつの言葉に心を込めて、ただ考や内容を伝えるのではなく感情を込めて私が福島県に行った際に感じたこと、色々な思いなどを聞いている方々にも感じてもらえることができれば、実りある発表になると思います

【重要 2年生への連絡事項、他学年への連絡】

2年生にて、インフルエンザの罹患者が急激に増加しています。2年生は、19日（木）5・6校時カットで下校、20日（金）は学年閉鎖、週明けさらに増加しました。このことから、**第2学年は、23日（月）は5・6校時カットで給食後下校、24日（火）は学年閉鎖**といたしました。（24日は、12までは自宅待機、その後も不要な外出は避けて自宅にて休養をとってください）**2年生は、明日が学年閉鎖のため、本日登校した生徒につきましては、通知表を渡していますので、ご確認ください。**

なお、2年生に限らず、全学年とも罹患や体調が悪く、本日の2学期の終業式に参加できなかった生徒について、通知表などの必要書類や学校の道具（クロムブックや教科書など）を以下の期日に、本人または保護者が取りに来てください。なお、本人が登校する場合は、インフルエンザ等感染症の場合、医者から外に出てよいと言われた期日をすぎていることが必要です。本人ではなく、保護者のみの来校でも構いません。また、**本日・明日は全部活動中止**とします。その後は各顧問から指示・連絡があります。**他学年の生徒については、校医さんからの指示で、極力『マスク着用』をお願いします。**

○12月25日（水）11:00～12:30

○12月26日（木）9:00～11:00

○12月27日（金）9:00～11:00

○1月6日（月）10:00～11:00

○1月7日（火）10:00～12:00

なお、**上記期間は、学級担任が登庁しているとは限りませんので、他の教職員から受け取ることもありうる旨、および 16:45 には学校は施錠されます**こと、28日～1月5日までは学校閉庁期間であるため対応はできないので、申し添えます。**Tetoru にて詳細は連絡済です。**